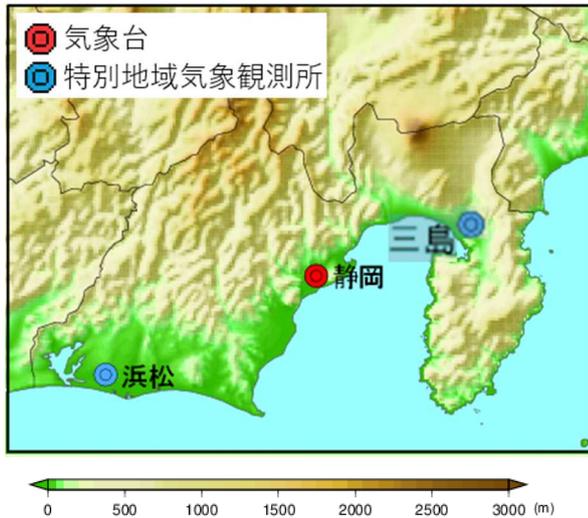


静岡県



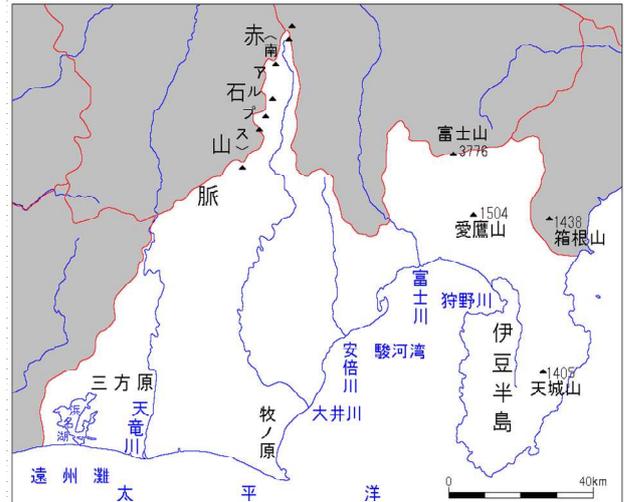
静岡県の地勢

静岡県は、太平洋に面して東西 155km、南北 118km の距離があり、海岸線の総距離は約 500km に達する(ふじのくに(静岡県公式ホームページ)より)。県の面積は 7,777km²(全国第 13 位)である。

静岡県は日本一の標高差を持つ県で、北には 3,000m 級の山々が連なる赤石山脈、北東には富士山と箱根山があり、南東には駿河湾を隔てて、中央に 1,400m 級の天城山等が連なる伊豆半島が突出している。西は 200m 級の牧ノ原台地と 110m 級の三方原台地があり、日本で 10 番目に広い湖の浜名湖がある。急峻な赤石山脈から発する富士川・安倍川・大井川の主要河川は急流をなしている。天竜川は諏訪湖が水源で流域は急峻な地形であり、狩野川は天城山から発し北に流れ駿河湾に達している。

静岡県の気候

気候的には海岸に近い地域の太平洋岸気候区と、標高の高い内陸台地や山間部の内陸性気候区とに分れる。関東南部から富士山の南麓と箱根山系をぬって吹き込む寒冷・湿潤な北東から東寄りの風は、静岡県の中中部と伊豆半島の天気を悪化させる。冬期は天城山付近で降雪もみられ、積雪となることも珍しくない。これに反し、北西及び北からアルプスの山を日本海側から吹き込み、伊吹山と鈴鹿山脈で雪を降らせて流れ込む乾燥した西風は、西部の遠州灘沿岸で強い西風とな



り好天をもたらしている。

気温をみると、伊豆半島東海岸から遠州灘にかけての沿岸部は比較的温暖だが、標高の高い中部山沿いや富士山麓で低くなっている。佐久間と天竜は、夏期に県内の最高気温を記録することがある。一方、井川、川根本町、御殿場などの中部の山地や富士山麓は低温となっている。

県内の年降水量は、井川、梅ヶ島、川根本町、鍵穴、御殿場、湯ヶ島などの中部山沿いや富士山麓、伊豆半島山地で多くなっている。

地形データには USGS (アメリカ地質調査所) の GTOPO30 を利用した。